

揚輝荘・名古屋市音楽プラザ コラボレーション企画

揚輝荘<<聴松閣>>の小さな音楽会 ～クラシックの玉手箱～

揚輝荘が建設された大正～昭和期に「聴松閣で行われたかもしれない音楽会」をテーマとして、当時出版されていたさまざまな楽曲の楽譜も使用して往時の雰囲気を感じながらコンサートを開催します。若手演奏家が奏でる素敵な音楽を、レトロモダンでおしゃれな揚輝荘の空間の中でお楽しみください。



揚輝荘 南園 聴松閣

出演



後藤 夏穂里
(ソプラノ)



谷畑 有紀
(フルート)



奥村 明子
(ピアノ)



聴松閣 多目的ホール (旧舞踏場)

曲目 (予定)

恋は優しい野辺の花よ (スッペ)

<タイス>の瞑想曲 (マスネ)

宵待草 (多 忠亮)

見よ、優しいひばりを (ビショップ)

ほか

2018年 12月21日 (金) 11時30分開演 (開場11時00分/終了12時15分予定)

※終演後、ご希望の方には聴松閣内の特別ガイドを行います

会場：揚輝荘南園 聴松閣 地階 多目的ホール (地下鉄覚王山駅より徒歩10分)

鑑賞：無料 (聴松閣入館料300円が必要 ※市内在住65歳以上の方は100円)

※整理券が必要となります。開催当日10時00分より聴松閣入口で配布します (先着50名)

※曲目等内容が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

お問合せ：TEL 052-759-4450 / TEL 052-331-6041

共催：揚輝荘 / 名古屋市音楽プラザ

音楽会の会場となる揚輝荘（ようきせう）とは

揚輝荘は、大正から昭和初期にかけて株式会社松坂屋の初代社長 15 代伊藤次郎左衛門祐民によって構築された別荘です。かつては迎賓館、社交場として華やぎ、国際的なコミュニティを形成した場所でもありました。その後、世の移ろいを経て、聴松閣を含め 5 棟の文化財と庭園が残されています。また、今回のコンサートの会場となる聴松閣の多目的ホールはもともと舞踏室として使われており、室内のレリーフにはインド風のデザインもあいらわれています。名古屋の歴史を伝える貴重な財産を、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

揚輝荘 開園時間：9時30分～16時30分

休園日：月曜日（祝日の場合はその直後の平日）、年末年始（12月29日～1月3日）

～ 5 棟の名古屋市指定有形文化財～ 北園



伴華楼（ばんがろう）



白雲橋（はくうんきょう）



三賞亭（さんしょうてい）

南園



聴松閣（ちようしょうかく）



揚輝荘座敷（非公開）
（ようきせうざしき）

揚輝荘のある街、覚王山をぶらり。

12月21日（金）には音楽会とあわせて日泰寺参道の弘法縁日と街歩きを楽しんではいかがでしょうか？

日泰寺の参道にはおしゃれな飲食店や雑貨店がたくさんありますが、毎月 21 日（弘法大師入定の日）の縁日の日には境内まで含めて数多くの露店が立ち並びます。参詣と合わせて覚王山の「街ぶら」を、そしてぜひ揚輝荘「聴松閣」での音楽会もお楽しみください！

～ 21 日の縁日で賑わう日泰寺参道の様子～



鉦薬師

堂内には本尊薬師仏を囲んで、円空作の日光、月光菩薩、十二神将などが並んでいます。円空がこれらを鉦一本で彫ったとされていることから鉦薬師と呼ばれるようになりました。毎月21日、縁日にあわせて開扉されています。

覚王山 歳弘法堂

弘法大師の誕生から入定まで（1歳から62歳）の像が安置されています。毎月21日、縁日にあわせて開扉されています。

～覚王山ガイドマップ～



日泰寺

日泰寺はタイ国王から贈られた釈迦の遺骨を奉安するために創建されました。釈尊を表す「覚王」を山号としています。仏舎利を奉安していることから、いずれの宗派にも属さない日本で唯一の超宗派寺院です。

千躰地藏堂

堂内には延命地藏尊が安置されています。毎月21日、縁日にあわせて開扉されています。